

事務事業名		スポーツ施設整備事業		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画掲載事業	<input type="checkbox"/> 総合戦略掲載事業																									
政策体系	政策名	0 3 豊かな心を育む人づくりの推進		事業期間																										
	施策名	1 2 生涯スポーツの振興		区分																										
	基本事業名	0 1 スポーツ環境の整備・充実		単年度繰返																										
根拠法令		-		※期間欄に開始年度を記入																										
所属	部課名	協働まちづくり部生涯学習課		【開始年度】																										
	課長名	平野 辰雄		-																										
	係名	スポーツ推進係	電話	0192-27-3111																										
	担当者	新沼 圭史郎	内線	288																										
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)				全体計画(※期間限定複数年度のみ)																										
スポーツ施設の整備、改修などを行う事業。①入札(見積依頼)②契約③完了検査(検収)④支払				<table border="1"> <tr> <td rowspan="7">総投入量 (千円)</td> <td rowspan="5">事業費</td> <td>財源内訳</td> <td>国庫支出金</td> <td></td> </tr> <tr> <td>都道府県支出金</td> <td></td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td></td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td></td> </tr> <tr> <td>事業費計(A)</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">人件費</td> <td>正規職員従事人数</td> <td></td> </tr> <tr> <td>延べ業務時間</td> <td></td> </tr> <tr> <td>人件費計(B)</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td colspan="2">トータルコスト(A)+(B)</td> <td>0</td> </tr> </table>		総投入量 (千円)	事業費	財源内訳	国庫支出金		都道府県支出金		地方債		その他		一般財源		事業費計(A)	0	人件費	正規職員従事人数		延べ業務時間		人件費計(B)	0	トータルコスト(A)+(B)		0
総投入量 (千円)	事業費	財源内訳	国庫支出金																											
		都道府県支出金																												
		地方債																												
		その他																												
		一般財源																												
	事業費計(A)	0																												
	人件費	正規職員従事人数																												
延べ業務時間																														
人件費計(B)		0																												
トータルコスト(A)+(B)		0																												

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段(主な活動)	⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)								
前年度実績(前年度に行った主な活動) 実績なし。	<table border="1"> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>ア スポーツ施設数</td> <td>箇所</td> </tr> <tr> <td>イ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> </tr> </table>	名称	単位	ア スポーツ施設数	箇所	イ		ウ	
名称	単位								
ア スポーツ施設数	箇所								
イ									
ウ									
今年度計画(今年度に計画している主な活動) ・赤崎グラウンド誘導案内看板設置 ・市民体育館バスケットゴール修繕 ・B&G海洋センタープール解体									
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等 ・整備、改修するスポーツ施設・設備	⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)								
	<table border="1"> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>カ 整備施設数</td> <td>箇所</td> </tr> <tr> <td>キ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ク</td> <td></td> </tr> </table>	名称	単位	カ 整備施設数	箇所	キ		ク	
名称	単位								
カ 整備施設数	箇所								
キ									
ク									
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) ・安全性・快適性を確保する。	⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)								
	<table border="1"> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>サ 事業進捗率</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>シ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ス</td> <td></td> </tr> </table>	名称	単位	サ 事業進捗率	%	シ		ス	
名称	単位								
サ 事業進捗率	%								
シ									
ス									
④ 結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか) ・スポーツ施設・設備が安全で快適に利用できる。									

(2) 総事業費・指標等の推移

投入量	事業費	財源内訳	単位	年度						
				2年度(実績)	3年度(実績)	4年度(実績)	5年度(実績)	6年度(目標)	7年度(目標)	
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0
			都道府県支出金	千円	0	0	0	0	0	
			地方債	千円	39,800	3,300	0	0	23,500	12,800
			その他	千円	39,441	2,717	32,117	0	1,294	0
			一般財源	千円	4,025	2,277	0	5	2,683	98
	事業費計(A)		千円	83,266	8,294	32,117	5	27,477	12,898	
	人件費	正規職員従事人数	人	1	2	1	1	1	1	
		延べ業務時間	時間	360	400	400	400	400	400	
		人件費計(B)	千円	1,440	1,600	1,600	1,600	1,600	1,600	
		トータルコスト(A)+(B)		千円	84,706	9,894	33,717	1,605	29,077	14,498
⑤活動指標		ア	箇所	13	13	13	13	13	13	
		イ								
		ウ								
⑥対象指標		カ	箇所	6	4	1	0	3	3	
		キ								
		ク								
⑦成果指標		サ	%	100	100	100	0	100	100	
		シ								
		ス								

事務事業ID	1359	事務事業名	スポーツ施設整備事業
--------	------	-------	------------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？

- 赤崎グラウンド誘導案内看板の設置は、県道の整備に伴い、グラウンドまでの道順がわかりづらいため、利用者及び市サッカー協会からの設置要望がきっかけである。赤崎グラウンドの人工芝化は、平成23年11月の市サッカー協会からのサッカー場設置要望がきっかけである。平成24年11月(一社)東北人魂・岩手グラウンドプロジェクトとのグラウンド整備に係る基本協定を締結し、平成25年4月から被災した旧赤崎小学校グラウンドを使用開始。
- 市民体育館バスケットゴール修繕は、ボールの反射がイレギュラーでプレイに悪影響が及んでいることから、プレイヤーからの修繕要望がきっかけである。
- B&G海洋センタープール解体は、施設の老朽化に伴い、B&G財団の了承のもと、解体するものである。

② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは前期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？

- 平成26年度に太平洋セメント大船渡工場から照明設備(6基18灯、制御盤)、(公社)24時間テレビチャリティー委員会から照明灯(2基6灯)の支援があった。
- JFAサッカー施設整備助成、スポーツ振興くじ助成を受けて整備
- 東日本大震災により応急仮設住宅が設置されていた市営球場は平成30年7月に、同様に山村広場は平成30年11月にそれぞれ供用を再開している。

③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？

- 中赤崎復興委員会の中赤崎まちづくり構想や市野球協会から新球場建設の要望が寄せられている。

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	理由・内容 施設整備を整備することにより、その機能が良好な状態で利用されることから、政策体系に結びついている。
	② 公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	理由・内容 市民が安心して快適にスポーツ活動を行う上で欠かすことができない市有施設であり、妥当である。
	③ 対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である	理由・内容 対象等については、拡大の余地はなく適切である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 向上余地がない	理由・内容 ・損耗や老朽化が進行するほど改善維持経費は上がる。 ・危険回避、機能維持が当面の優先事項。スポーツ施設整備基本計画の内容を総合計画実施計画、公共施設等総合管理計画個別施設計画との調整を図り、安全安心な施設の利用につなげる。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響がない <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある	理由・内容 事業を廃止した場合、施設等の破損や故障が放置されるため、施設の機能が損なわれ、利用者の快適なスポーツの機会と余暇活動等に支障をきたす。
効率性 評価	⑥ 事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由・内容 老朽化により、施設等の故障や不具合箇所が増加が見込まれることから、事業費削減の余地はない。
	⑦ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由・内容 施設等の保守点検に係る管理委託に代えて、平成18年度から指定管理者制度を導入した。整備計画等については正職員1名で対応しており、これ以上の削減余地はない。
公平性 評価	⑧ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である	理由・内容 条例の規定により、利用者から利用料金を徴収している。

3 今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 改革改善の方向性	(2) 改革・改善による期待成果	(3) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等																							
2 改革改善(縮小・統合含む)	<table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上		●		維持			×	低下		×	×	<p>市スポーツ施設の指定管理を請け負う(一財)大船渡市スポーツ協会からは、毎年20を超える修繕、改修要望を受けているものの、限られた予算措置の中では対応が難しく、年々修繕等の箇所が増え続けているのが現状である。こうした現状をきちんと内部で共有し、適切な予算措置について協議を深める必要がある。</p> <p>市内のスポーツ施設を持続的に提供していくためには、事後対応だけではなく予防保全による施設の長寿命化が必要不可欠であり、今後、事業費の確保に努める。</p>
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上		●																						
	維持			×																					
	低下		×	×																					
<p>※(1)改革改善を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入。 (現状維持の場合、コスト及び成果は「維持」) (終了・廃止・休止の場合は記入不要)</p>																									

4 課長等意見

(1) 今後の方向性	(2) 全体総括・今後の改革改善の内容
2 改革改善(縮小・統合含む)	<p>基本的には施設は現状を維持する必要があるが、施設の老朽化を踏まえ、再整備、長寿命化、高機能化等を計画的に進める必要がある。</p> <p>スポーツ施設整備基本計画を踏まえ、整備方針やスケジュール等を検討するとともに、活用できる財源等の情報を収集する等しながら、計画的に施設の整備改修等に取り組むとともに、詳細検討を要する施設については、整備の必要性等について検討し方向性を示す必要がある。</p>